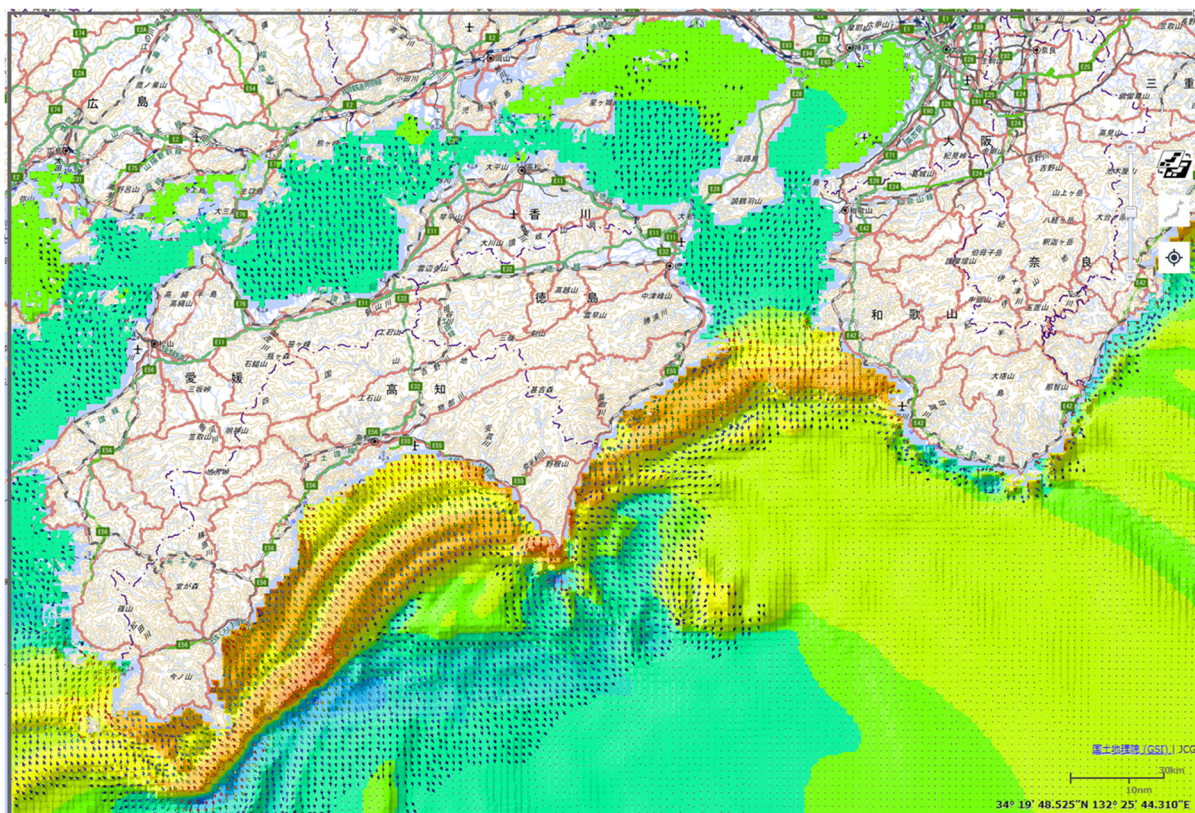


「海しる」は、各種地図、海底地形、船舶通航量などの多様な情報の重ね合わせや拡大・縮小、検索、表示海域の変更も簡単にできるため、視覚に訴えた津波防災の啓発等に役立つことが期待されます。



四国～紀伊半島海域に及ぶ広域の津波シミュレーション結果
(出典：海洋状況表示システムより作成 情報提供元：国土地理院、海上保安庁)

(3) 海洋状況表示システムの活用推進に関する検討会の開催

「海しる」が、我が国のMDAの基盤サービスとして海洋情報を利用する方々のニーズに応じて、今後さらによりよいシステムに改善・発展していくための指針を得ることを目的に、令和元年（2019年）度に海洋の様々な分野の外部専門家による「海洋状況表示システムの活用推進に関する検討会」を開催しました。

検討会が令和2年（2020年）3月に取りまとめた報告書¹²では、「海しる」はニーズを踏まえた情報の充実・精緻化、機能強化等の改善を継続するべきとされ、政府サービスとして情報の網羅性を確保する、「海しる」のAPI¹³公開等により他の情報サービスやアプリとの連携を図る、海洋教育に資するコンテンツの充実や操作性・表示の改善を図る、フォーラム開催など利用者のすそ野を広げる等の具体的方策が示されました。

¹² 「海洋状況表示システム（海しる）の活用推進に関する検討会 報告書」
https://www8.cao.go.jp/ocean/policies/mda/pdf/r2_report.pdf

¹³ 「API」 Application Programming Interfaceの略で、情報システムが提供するデータや機能を外部のソフトウェアから呼び出して利用するための手順・データ形式等を定めた規約のこと。